第22回



市長コラム

てっちゃんのひとりごと

このコーナーでは、小林哲也市長が日々感じている思いや出来事などを隔月連載でお伝えしています。

「ラグビータウン復活。そして成長へ！」

今シーズンのNTTジャパンラグビー リーグワンプレーオフトーナメントも幕を閉じました。結果に残念な思いはありますが、気持ちを切り替え、今回は高校ラグビーのことについてお話をしたいと思います。

熊谷市がラグビータウンと称して30年以上がたちましたが、その始まりは熊谷工業高校の全国高等学校ラグビーフットボール大会（花園大会）優勝でした。ついに優勝、頂点を極めたあのとき、街中は歓喜にあふれていました。これが大きな契機になったと記憶しています。



（平成2年2月市報）熊谷工業高校ラグビー部による市内パレードの様子

その後、しばらく熊谷市のラグビーは低迷期を迎えたものの、2019年ラグビーワールドカップの誘致や埼玉パナソニックワイルドナイツの活躍で、眠っていたラグビー愛が見事に復活しました。そして今、再び高校ラグビーが面白くなっています。まず、熊谷高校の成長から目が離せません。今春、全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会に初出場し、関東大会の県予選では、26年ぶりに決勝進出。惜しくも準優勝となりましたが、強豪川越東高校との熱戦を現地で応援していた私にとっては、大躍進と思っています（関連記事30ページ）。そして、古豪の熊谷工業高校も県ベスト8で、十分上位を狙える力を持っています。

今年の花園大会予選は、県内各チームがしのぎを削る群雄割拠の様相です。高校ラグビーの活躍が、ラグビー愛の一層の成長につながることを期待しながら、今からワクワクしています。

夢は花園！皆さんも、ぜひラグビー場で応援をお願いします！